C H I N A T O U R I S M

中國旅游

中国

世　界　遺　産

武当山古代建築群







武当山古代建築群
世界文化遺産

武当山は峨眉山や青城山と同様、著名な道教の聖地である。言い伝えでは、道教が信じている「真武大帝」は、ここで道を得て飛び昇ったという。武当とは、「真武で非らずには之に当たるのに足らず」の意であるという。武当山はまた「武当拳術」の発祥の地である。

武当山は湖北省西北部丹江口市の西南に位置しており、周囲は四百里に及んでいる。明代(西暦 1368 ～ 1644 年)の時、武当山は皇帝から「大岳」や「玄嶽」に封じられ、地位としては「五嶽」諸山の上にランクされた。武当山の主峰は、海抜 1612m の天柱峰という山に当たっており、周囲は七十二の峰が立ち並び、あたりには 36 岩山、24 渓流、11 鍾乳洞、3 淵、9 泉、10 池、9 井戸、10 石、9 台などの景勝地が散在し、昔から「万山が拝謁するところ」として崇められている。

武当山古代建築群は、規模としては「五嶽」を上回っている。唐の貞観年間に築造が始まって以来、各代による増改築は絶たず、特に明の永楽年間(西暦 1403 ～ 1424 年)には、明の成祖・朱棣が道教を唱えたため、宮・観(道教寺)の築造に動員された軍人や労役は、なんと 30 数万人に上っており、築造には 10 年の歳月を費やしたという。道教の「玄天上帝」が真武で修行を積んだ物語に基づいて築造された宮殿群は、淨楽、迎恩、遇真、玉虚、紫霄、五龍、南岩、太和をはじめ 8 つの宮および元和、複真などの観、合わせて 33 の大型建築群にまで形成されている。建物は古均州城から天柱峰の金頂に至るまで延々と 7km に及んでおり、面積は 160 万 m^2 近くで、2 万間以上の宮、観、庵、堂、寮、舎（いずれも道教寺のこと）と台、院を含んでいる。デザインには地形を活用して建物を配置するという特徴がある。峰の頂き、斜面、岩、渓流の間に建てられた建物は精巧を極め、疎あり密ありて、中国の古代建築の優れた伝統を現している。現存した主要宮殿には金殿、紫宵宮、遇真宮、複真宮などがある。

建物は真武帝が修行を積んだ物語および政権、神権とを結びつく意図に基づいて築造され、「荘厳」、「威武」、「玄妙」、「不思議」の雰囲気に包まれている。山の麓から山頂にある天柱峰の金殿までは、長さ 70km の「神道」が開かれており、「神道」沿いの両側には 8 宮、2 観、36 庵堂、72 岩廟、39 橋、12 亭台などの建物が点々と築かれている。

建物のすべては、険しい峰や幽邃な鍾乳洞、切り立った崖を十分に活用して、自然の木々や岩壁、渓流と調和するようにつくられていて、宛も 1 幅の天然の絵のように見えている。自然の環境を崇め、そのまま利用することは、武当山道教建築群の特徴である。武当山道教建築群は 1994 年、『世界文化遺産リスト』に収められている。



武当山山門


金殿


太子坡

金殿

武当山の主峰―天柱峰上にある中国最大の「金メッキした銅鋳」の大殿である。明の永楽十四年(西暦 1416 年)に築かれた高さ 5.5m、幅 5.8m、奥行き 4.2m の殿である。殿内の桁や梁、藻井(天井)はいずれも細かい花文様が施されている。藻井の上に掛かった金メッキした 1 粒の珠は、人々から「避風仙珠」と呼ばれたもので、言い伝えでは、この真珠は殿内の灯を山風から守ることができるという。実は殿のよく密封している門や窓のためである。殿内に奉納された「真武」の銅像は、重さが 10 トンに達している。外は漢白玉石の欄干で囲んだ台座で、その下は長さ約 1500m の「紫金城」に当たっている。城壁は巨大な長方形の石を用いて山の斜面に沿って構築したもの。金殿は武当山群峰の中でも最も険しい天柱峰上に築かれたため、「天上界の瑤台金闕」(空に浮かんだ神仙の宮殿)と思わせる効果がある。明の永楽十一年(西暦 1413 年)に築かれた紫宵宮も完全な形に保たれた武当山の主要宮殿の 1 つである。

紫霄宮

武当山東南の展旗峰麓にある。北宋の宣和年間(1119 年～ 1125 年)に築かれた。武当山の八大宮観の中でも規模が最も大きく、最も完全な形に保たれた道教建築の 1 つである。現存の 29 棟の建物は、建築面積が 6854 ㎡に達する。下から上に伸びた中軸線に沿って、それぞれ龍虎殿、碑亭、十方堂、紫宵大殿、聖文母殿などの建物が建てられており、両側に配された 3 ブロックの脇殿も、それぞれ 1 組の殿堂楼宇を成している。宮の中部両翼は「四合院式」の道士の居所。主体建築としての紫宵殿は、武当山を代表する木構建築で、3 層からなる石台座の上に築かれており、台座前の真ん中および左右両側はいずれも大殿に通じる小道がある。殿は間口も奥行きも五間で、高さ 18.3m、幅 29.9m、奥行き 12m、面積は 358.8m^2 である。36 本の金色の柱はきちんと並べられている。殿は重厚な屋根を頂いた「重簷歇山頂式」と呼ばれる木造建築である。上と下の軒は明代初期の仕来りに踏襲したもので、柱頭と升形にも明代の特徴が見られる。梁と桁の 5：2.5 といった比率は、宋・遼代以来の比率をそのまま利用したもの。殿内の金柱や升形と屋根を敷いた瓦は、「孔雀藍」と呼ばれる青緑の色を用い、正脊、垂脊と戧脊と呼ばれる各屋根は黄、緑両色を主としている。透かし彫りの手法も用いられた。彩られた建物で、他の宗教建築には稀に見たものである。

遇真宮

玄嶽門西約 500m のところにある。明の永楽十五年(西暦 1417 年)、仙殿、山門、廊廡、東西方丈斎堂など大小様ざまな 296 の殿堂が築かれ、「遇真」の宮名が賜った。主要建築はほぼ健在で、本殿は武当山でもかなり完全な形に保たれた明代風格の建物である。

称賛すべきは、「遇真宮」は皇帝がもっぱら、武当山の 1 人の道士のために築かせたものである。史書の記載によれば、この道士は張三豊と呼ばれ、堂々とした体格の持主で、耳が大きく目は丸く、寒暑を問わず蓑 1 枚しかつけず、辺地や町を歩きまわして遊び、人々から仙人とされているという。明の洪武初年、張三豊は武当山に来て、庵を結んで修行を積んだ。彼が開発した武当拳は、名が天下を驚かせ、後代の宗師によって発展し、ついに中国武術でも最も影響力が大きい流派の 1 つとなっている。張三豊が武当武術の開祖とされているため、遇真宮もこれにより歴代の武当拳の第子から崇められるようになった。

明の洪武二十三年(西暦 1390 年)、張三豊は武当を離れて行き先


太子坡五雲楼の「一柱十二梁」



武当山瓊台の中観



武当山古神道碑



武当山の黄龍洞

不明になった。明の太祖・朱元璋も明の成祖・朱棣も、詔を下ろしたり使を遣ったりして張三豊を探したが探し当てられなかった。後に明の成祖は自ら「遇真宮」を築かせ、張三豊を殿のまん中に奉納するよう昭を下ろした。皇帝が自ら武当山の1人の道士のために宮を築かせ、彫像を立てて奉納するということは、中国歴史においては稀に見なかったもので、遇真宮もこれによりいっそう神秘な雰囲気に包まれるようになっている。

玉虚宮

玄嶽門西約4kmのところにある。武当山建築群においても最も大きい宮殿の1つ。明の永楽十一年(西暦1413年)に完成した5ブロック、2200以上の部屋をもつ道教寺である。清の乾隆十年(西暦1745年)に壊された。現存の一部の建物から、当年の規模の大きさが窺われる。

複真観

現在の複真観は、明の永楽十二年(西暦1414年)に建てられたものを清の康熙年間(1662～1722年)に改築したもの。規模はほぼ最初のものを保っている。現存した建物には紅門、龍虚殿、正殿、後殿、左右配殿などがある。いずれも黒い瓦を敷き、極色彩の梁や桁を持つものである。ほかにまた「九曲黄河」壁、「一柱十二梁」、「十里桂花香」などの見所が残っている。

複真宮

太子坡とも呼ばれている。天柱峰の東北にある。金頂と呼ばれる山頂への登頂には、どうしても必ず経由しなければならないところ。明代前半に築かれた以来、何回も改築したことがあるが、最初の容貌はほぼ保たれている。現存の面積2000㎡以上の殿宇は、山の斜面に沿って、上に伸びるように築かれており、最高所は太子殿と呼ばれる殿である。中軸線上に築かれた建物には照壁(目隠し壁)、梵帛爐、龍虎殿、大殿、太子殿などがある。左側の庭を囲むようにして経堂、藏経閣、廟亭、斎房などの建物が立ち並ぶ。これも山の勾配に沿って、高く低くしたりして築かれている。見ものの1つとしては、岩壁によりかかって

紫宵宮





武当山の龍頭香爐



武当山ロープウェー



武当山の玉虚宮

て築かれた12本梁・桁構造の5階建ての楼閣がある。「一柱十二梁」と呼ばれたこの楼閣は、構造が独特で、完成して以来100年間風雨にさらされても、最初のままで健在である。

老君岩

武当山で発見した掘削年代が最も古い唯一の石窟である。最初は、石窟の前には、また23間の道士部屋があり、規模がかなり大きいものであったという。石窟の真ん中には修行の格好をした老君像が彫られてあり、顔面部は壊されたが、端座している姿には唐代彫像の風格がはっきり見とれられる。老君岩石窟の左側にはまた1組の摩崖石刻があり、「太子の武当入り」、「蓬莱九仙」などが彫られている。これらの摩崖石刻は、ここに残された宋、元、明、清各代の宗教祭典文字とともに、武当山の宗教と歴史を研究する上で得難い実物となっている。現存の約2000㎡の老君岩遺跡は、道教最高長者である元始天尊、霊宝天尊と道徳天尊が住む「三清境」にあたるものである。老君とは人々がよく言う太上老君のこ



とで、名字は李耳といい、古代中国の著名な哲学者で、彼が著した5000字にのぼる『道徳経』は、聖典として崇められ、彼本人もこれにより道教の開祖とされている。

観光イベント

武当参拝

時間：毎年旧暦3月と8月

内容：武当山地区では「武当参拝」の習俗がある。山参拝とはいえ、実は墓参りと同じように、ピクニックの内容も含まれ、土地の人々が生活を楽しむもう1つの形式といってよい。

味覚

武当山所在の地区は、中国の「八大料理」の1つにあたる鄂菜(湖北料理)と川菜(四川料理)を主としている。武当山の料

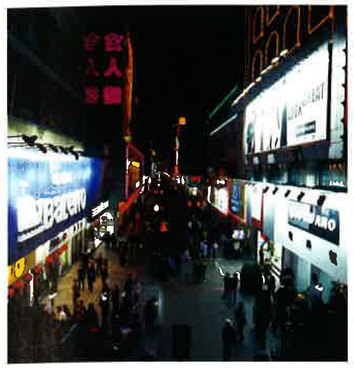


紫宵宮内の玉皇大帝像



武当山廟会(缘日)


武漢の東方大酒店


武漢漢陽の歩行祭

理といえば、地道な道教料理が代表格。仏教と道教両料理の長所を揃えてつくった武当山料理は、原材料の持ち味を大切にし、口当たりがよくて美味しい。紫宵宮と太和宮では味わえる。

伝統料理:「広水滑肉」、「黄陂三合」、「汚陽三蒸」(蒸し物)、「武昌魚」、「小桃園煨湯」(スープ)などがある。

風味スナック:玉虚宮あたりの「永楽盛世」は、軽食専門店が集中する町で、そこに行けば各種軽食が賞味できる。このうちの「襄樊糊辣湯」は最も有名といわれている。

ショッピング

ここの生ウルシ、桐油、キノコ、マッシュルーム、茶の葉、トルコ石工芸美術品、漢方生薬などが有名で、遠く国内外に売りさばかれている。

観光土産:湖北省鄖県トルコ石工芸美術品と武当山の漢方強壮剤のレイシは有名。

交通

天柱山へ行くには飛行機、船、汽車、バスが利用できる。天柱山と安慶間の距離は56km。

飛行場:潜山県都まで53km離れた安慶飛行場は、目下北京、上海、広州、厦門(アモイ)、武漢、温州、景徳鎮までの航空ラインが開通されており、毎週は20以上のフライト便を出している。

鉄道:目下は北京、上海、広州、深圳、済南、福州、合肥、南昌各地までの観光列車が開通されている。天柱山へ行くには、まず省都の合肥まで行き、それから汽車かバスに乗り換えていくことができる。

汽船:天柱山は長江の北岸に位置し、安慶港まではわずか57km

主要レストラン

店　名	場　所	電話(局番719)
永楽餐飲部	武当山特区公園路155号	5663100
天恒大酒店	武当山特区玉虚北路	5660699
天縁酒家	武当山特区黄榜路	5660717
玄武大酒店	武当山特区太和路	5666013
惠民酒楼	武当山特区沿河路	5663696

主要ショッピングセンター

店　名	場　所	電話(局番719)
文博堂礼品商店	十堰市香港街南街2号	8681648
綠松石珠宝行	十堰市人民路546号	8675918
鑫銀珠宝行	十堰市人民南路47号	8890779
丹江口京華スーパー	丹江口市人民北路12号	5214166
丹江口市神州育林製筆	丹江口市大火二路	5377518

主要レクリエーション・センター

店　名	場　所	電話(局番27)
音楽之声量販式KTV	武漢市武昌首義路95号	88050588
湖北英東水泳館	武漢市武昌区体育館路2号	87839601
動感地帯天行フィットネス・センター	武漢市台北一路13号	85780768
康霸ボーリング館	武漢市武昌中北路1号	87320240
永田テニスクラブ	武漢市漢口武漢体育館	83758996
武漢東方ゴルフクラブ	武漢市京漢大路889号	82788028


武当山霊芝(レイシ)


マッシュルーム


武昌魚


武当山の「五当剣」


朝拝殿前の同心鎖(錠前)


紫宵殿

一部のホテル

店　名	クラス	場　所	電話(局番719)
十堰燕良大酒店	★★★	十堰市人民北路38号	8668888
十堰柳林賓館	★★★	十堰市柳林路58号	8663111
十堰商業貿易大廈	★★★	十堰市六堰山2号	8666266
十堰車城賓館	★★★	十堰市東嶽台8号	8240941
丹江口賓館	★★★	丹江口市人民路8号	5222249
丹江口龍山賓館	★★★	丹江口市上壩路7号	5378188
丹江口電力賓館	★★	丹江口市沙陀営路171号	5235563
丹江口鵠鴛居賓館	★★	丹江口市松濤山荘	5379977

主要旅行社

店　名	場　所	電話(局番27)
武漢市海外旅遊有限責任公司	武漢市宝豊路48号	83632862
武漢市海外旅遊総公司	武漢市漢口中山大道909号	82775822
武漢市揚子江国際旅行社	武漢市口解放大道単洞口国際大廈	85413738
武漢市中国旅行社有限責任公司	武漢市武昌体育館路1号	87320095
武漢市中国国際旅行社	武漢市漢口中山大道909号	82775822
武漢市中国青年旅行社	武漢市武昌水果湖東三路7号	87812085
武漢市春秋国際旅行社有限公司	武漢市江岸区車站路6号	82779977

しかない。安慶港は中国の第1級港に属するもので、ここから出している汽船は蕪湖、南京、鎮江、上海、武漢、宜昌、重慶各大都市に通じている。ここから毎日のように発着している多くの船便は、長江沿岸の観光客の便利な足となっている。

全国統一の特種サービス電話

中国国際電話頭番号:0086	警察通報先:110	交通事故通報先:122
電話番号案内:114	国内長距離電話予約:113	国際電話予約:115
火事通報先:119	救急センター:120	天気予報:12121

中国地図における武当山古代建築群



中国国家観光局(東京)

東京都港区虎ノ門2-5-2 エアチャイナビル8F
郵便番号:105-0001
電話:03-3591-8686
ファックス:03-3591-6886

中国国家観光局大阪事務所

大阪市浪速区湊町1-4-1OCAT ビル4F
郵便番号:556-0017
電話:06-6635-3280
ファックス:06-6635-3281

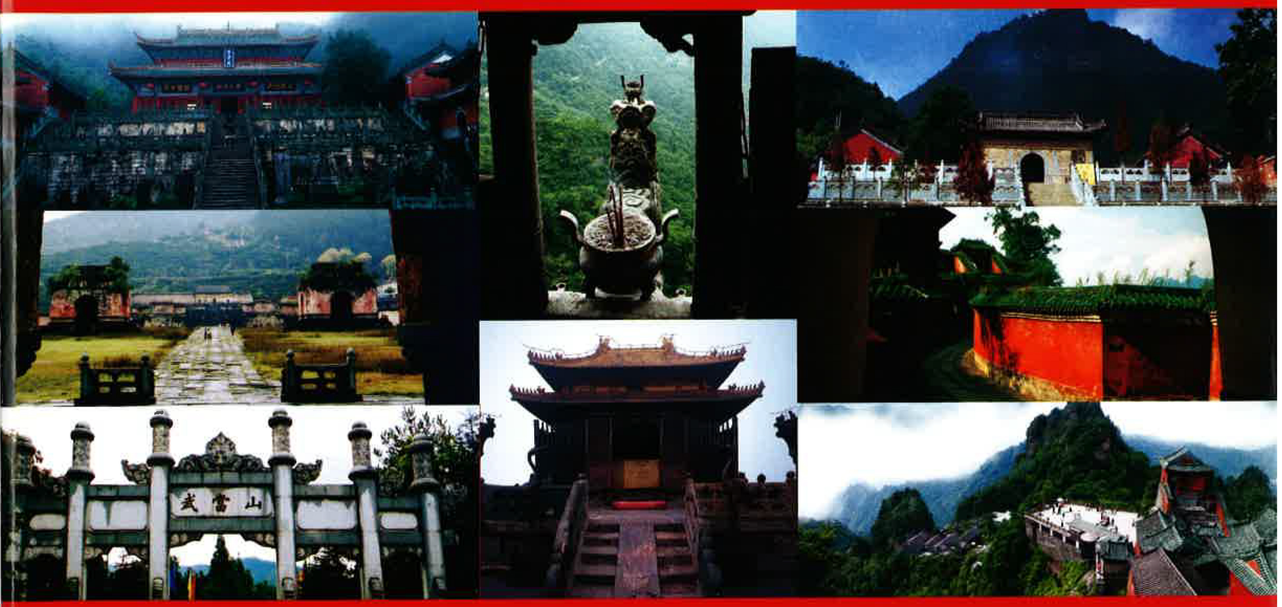
中華人民共和国国家観光局

アドレス:北京市建国門内大街甲9号
電話:0086-10-65201114
ファックス:0086-10-65122096
ホームページ:http://www.cnta.gov.cn

CHINA TOURISM

中國旅游

武当山古代建築群



中华人民共和国国家旅游局
CHINA NATIONAL TOURISM ADMINISTRATION



ご覧いただきありがとうございます！